

【小施策評価(令和元年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	文化国際課	
施策	12	芸術文化の振興	評価 責任者	下田 法子	内線 3710
小施策	12-1	芸術・文化活動の充実	評価 シート 作成者	齋藤 克幸	内線 3711

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
市民の価値観が多様化していることから、コンサートや演劇、美術展などの芸術鑑賞事業や各種講座など、芸術文化に親しむ機会を提供する事業については、市民ニーズの把握に努めるとともに、それぞれの文化会館の特色を生かしながら、魅力ある事業展開を図る必要がある。 芸術文化活動の振興を図るため、活動発表の機会を設けているほか、優れた公演や事業などに対して共催や後援を行い支援しているが、市民の自主的な活動を促進するため、更に効果的な支援、育成に取り組む必要がある。		優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、市民自らが表現する場や芸術団体が相互に交流する場の創設と芸術文化団体の活動を支援する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民, 芸術・文化に関わる人・団体		芸術・文化活動に参加できる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析
指標① 芸術文化事業鑑賞者数	人	↗	当初値 (H25) 28,372 R1目標値 29,500 R6目標値 31,000		
			<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度目標値を超えた。 まちづくり評価アンケートの芸術文化活動に参加したことがある人の割合が前年度比2.5%増の44.7%となった。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞事業数は前年並みではあったが、ある程度の市民ニーズに応えた事業展開による結果、目標値を超えることができた。
			<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度と比べて6,784人減少した。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い事業が1件中止となった。 どのような事業が求められているか、文化会館利用者だけでなく、社会情勢等も含め広く市民のニーズを把握し、事業を計画する必要がある。
			問題点	⇒	問題の要因分析
指標② 文化会館活動参加者数	人	↗	当初値 (H25) 10,741 R1目標値 10,900 R6目標値 11,800		
			<ul style="list-style-type: none"> 参加者満足度の目標値90%に対して、実績が98.3%となり、目標値を大きく上回ったほか、前年度比3.8%の増となった。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> どのような事業が求められているか、文化会館利用者アンケートなどによる意見等を反映するなど、事業の質を高めた結果、参加者の満足度向上に繋がった。
			<ul style="list-style-type: none"> 参加者数が平成30年度に比べて752人減少した。 隔年実施の大型事業による参加者数の増減があるが、その事業を除くとほぼ横ばいとなっている。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、事業が4件中止となったこと。 どのような事業が求められているか、文化会館利用者だけでなく、社会情勢等も含め広く市民のニーズを把握する必要がある。
			問題点	⇒	問題の要因分析
指標③ 盛岡芸術祭参加者数	人	↗	当初値 (H25) 11,453 R1目標値 11,500 R6目標値 12,000		
			<ul style="list-style-type: none"> 声楽、邦舞、能楽、管弦楽、民謡部門で入場者数が微増した。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 出展(出場者)数の募集について、広報やホームページに掲載したほか、施設に募集要項を配置して周知したため。 大型連休(GW10連休)と重ならない部門であったため。
			<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に比べて2,733人減少した。 入場者数だけでなく、参加者数も減少している。 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 隔年実施により洋舞部門が出場しなかったため。 大型連休(GW10連休)と発表が重なった部門が多かったため。 例年発表会場として利用している施設が改修工事のため、会場を分散して開催したため。
			問題点	⇒	問題の要因分析

今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> 盛岡市芸術文化推進計画に基づき事業に着手する。 盛岡市芸術文化推進計画に基づく効果的な事業展開について、指定管理者、芸術文化関係者等との意見交換を行い、年度別実施計画の策定について検討する。 ☆1 推進計画及び実施計画に基づき、PDCAサイクルにより目標達成に向けた事業を進めていく。 	
<ul style="list-style-type: none"> 盛岡市芸術文化推進計画に基づき事業に着手する。 盛岡市芸術文化推進計画に基づく効果的な事業展開について、指定管理者、芸術文化関係者等との意見交換を行い、年度別実施計画の策定について検討する。 ☆1 推進計画及び実施計画に基づき、PDCAサイクルにより目標達成に向けた事業を進めていく。 	
<ul style="list-style-type: none"> 盛岡市芸術文化推進計画に基づき事業に着手する。 盛岡市芸術文化推進計画に基づく効果的な事業展開について、指定管理者、芸術文化関係者等との意見交換を行い、年度別実施計画の策定について検討する。 ☆1 推進計画及び実施計画に基づき、芸術文化関係団体と連携して事業を進めていく。 	